



学校だより

# 「至誠」

防府市立松崎小学校

第26号

令和3年10月19日

## ＜6年生が救急救命講習に取り組みました！＞

防府市消防本部では、防府市内の小学校高学年（6年生を主体）、中学校2年生に対して、「救命入門コース」を小・中学校で実施しておられます。

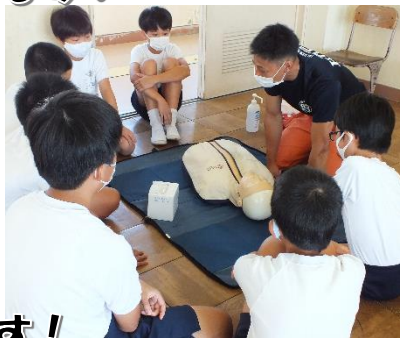
この取組の中で、松崎小学校においても、このたび、消防本部と連携して、6年生を対象に救急救命講習を実施いたしました。もう何年も続いている「命」に関わる大切な学習です。

救急救命による、心臓が止まった人の社会復帰率向上のためには、**バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）が、早期に胸骨圧迫等の応急手当を実施する**ことが重要であると言われています。救急救命講習は、正しい救命の知識と手技を教え、バイスタンダーの養成をして社会復帰率向上をめざすものなのです。防府市のこの取組は、義務教委育年齢の小学生や中学生といった「若きバイスタンダー」を育てていこうとする素晴らしい取り組みであると思います。

具体的には、小学生には救急の正しい知識、周囲の大人を呼ぶことの大切さを教え、中学生には呼ばれる大人としての教育を中心に実施されています。講習では、新型コロナの感染防止を踏まえ、人工呼吸は行わないこと、飛沫感染防止を徹底することなど、自分自身の安全を守る情報も交えて教えていただくとともに、「胸部圧迫」による心肺蘇生の実技演習に一生懸命に取り組むことができました。今日学んだことが、誰かの命を守ることにつながる日が来るかも知れません。忘れないでいてほしいと思います。



消防署の方の話を真剣に聞いています！



正しく、胸部圧迫ができています！



6年生らしく、一生懸命、講習に取り組みました！